

地方の港湾整備に関する提言

～重点港湾の選定～

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

我が国の港の国際競争力の強化の早期実現を図るため、地域拠点性、貨物取扱量実績により重点港湾（仮称）を選定し、直轄港湾整備事業の選択と集中を図る方針だとお聞きしております。そのなかで、港湾施設の整備効果を早期に発現させようとする姿勢や、地域の拠点性に着目することは、重要な視点だと高く評価しています。

一方、地方の港湾では、多くが整備途上であり、輸送コストの縮減や、国内基幹産業への重要物資の安定供給に資するためには、継続した港湾整備が必要不可欠です。また、地域における拠点港の整備は、地方の産業振興のためにも重要です。

加えて、地方の港湾では、防波堤等の港湾施設が整備されることにより、大規模災害時等における津波被害の軽減や、発災後の海側からの救援・復旧物資輸送拠点としての役割も担っております。

このため、以下の内容について、提言をいたします。

【政策提言の具体的内容】

- 1 国内港湾の拠点化をより効果的なものにすると同時に、地方の発展に期するためには、【地域拠点性】、【貨物取扱量実績】に加え、以下の視点による重点港湾の選定が必要だと考えます。

内航フィーダー航路未整備地域を解消するため、輸送コストの縮減効果の大きい港湾の整備の推進。【内航フィーダー網の整備効果】

国内の基幹産業等への資源・物資の安定供給に資する港湾の整備の推進。【基幹産業への寄与】

防災上重要な役割を果たす港湾整備の推進。【防災上の役割】

投資効果を最大限に発揮するためには、既存施設の有効活用や効果の早期発現が期待できるプロジェクトの推進。【整備効果の早期発現】

港湾の役割分担と相互連携の推進。【港湾間の機能連携】

- 2 重点港湾については、地域の経済状況等を考慮しながら、定期的な見直しが必要と考えます。

【高知県担当課】土木部港湾課